

長野農業農村支援センターだより

令和7年2号

長野県市町村・JA 合同就農相談会が開催されました！



新規就農セミナーの様子



各市町村ブースの様子

7月6日に、東京都有楽町で長野県・長野県農業担い手育成基金主催の「長野県市町村・JA 合同就農相談会」が開催され、長野地域からは6市町村が出展しました。

当日は都内や近隣県から、就農を検討している130名の方が来場し、来場者はそれぞれ関心のある市町村のブースで各担当者から、長野地域のブースでは各市町村の農業の特色や「就農体験」について、案内を受けていました。

また、同時に開催された「新規就農セミナー」では、県の担当者から就農までのプロセスや支援制度について説明があったほか、先輩農業者の体験談もあり、大勢の来場者が真剣に耳を傾けていました。

今回の出会いを契機として多くの方々が長野地域へ足を運んでいただき、就農への第一歩につながることを期待します。

発行 長野農業農村支援センター 技術経営普及課

〒380-0836 長野市大字南長野南県町 686-1

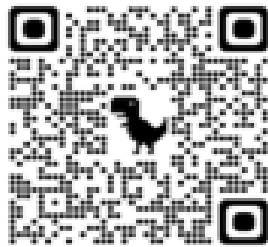
電話 026-234-9536 FAX 026-235-8393

Eメール nagano-aec@pref.nagano.lg.jp

URL <http://www.pref.nagano.lg.jp/nagachi/nosei-aec/index.html>

目 次

○農作物の生育状況	1
○特集1「テンサイシストセンチュウの発生に警戒を」	3
特集2「熱中症、農作業事故に気を付けましょう」	5
○新規就農者の紹介	7
○地域のできごと	8
○今後の予定	10
○情報提供	12



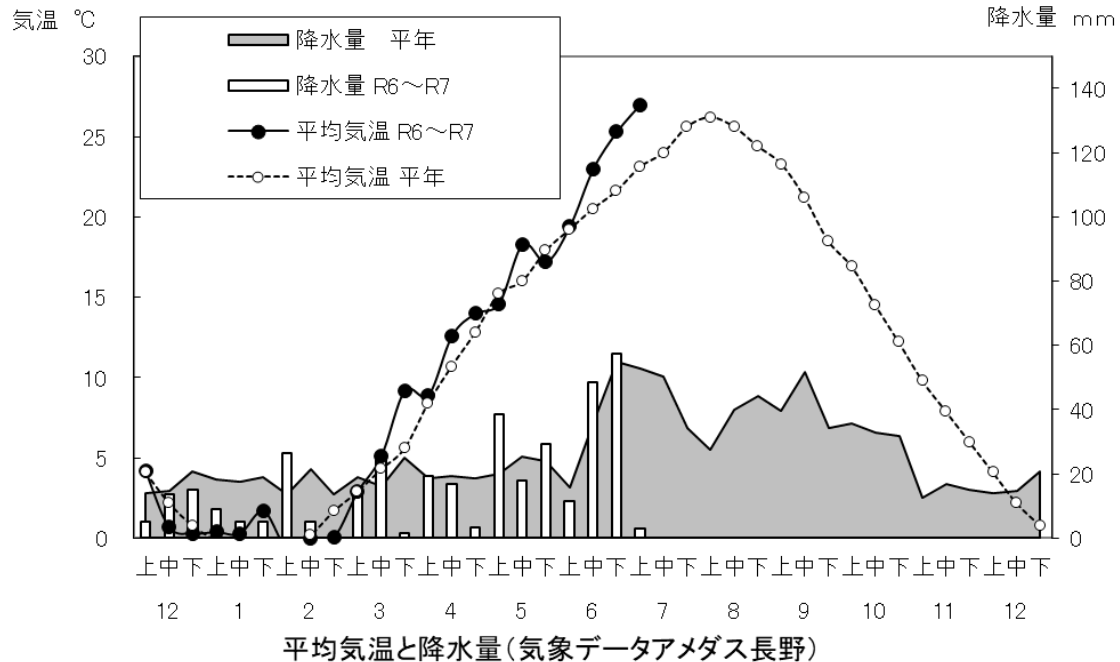
支援センターだよりページ

農作物の生育状況（7月15日現在）について

令和7年7月15日

長野農業農村支援センター

【気象データ】



【作物】

(1) 麦類

大麦「シュンライ」は、平年より1日早い5月28日に収穫が開始され、順調に進み終了した。

歩留まりが悪く、平年より収量が少なかった。種子大麦は細身が多く準種子となる見込み。

小麦「ユメセイキ」は、平年より3日早い6月16日から収穫が開始された。

長野市の小麦「ハナチカラ」及び「しゅんよう」は6月中旬から収穫が開始された。細身や未熟粒で等級落ちが見られる。現在のところ検査で赤かび病等の被害粒は確認されていない。

(2) 水稻

移植後は低温、日照不足により分けつが少ない状況であったが、6月中旬より気温が上昇した影響で一気に生育が前進し、茎数過剰のほ場も散見される。現在は中干しをしているほ場が多いが、平年より数日早く幼穂が形成されている。長野市ではウンカによる縞葉枯病の発生ほ場が見られた。

「にじのきらめき」は出芽に遅れがあったものの育苗した苗のうち9割は移植でき、生育は順調。

(3) 大豆

標準は種の地域の出芽は良好だが、は種後降雨が無かった地域では一部出芽不良となった。

(4) ソバ

戸隠の「キタワセソバ」は6月18日頃に開花期を迎え、7月中旬現在、平年より早く黒化しており、7月20日頃から収穫が始まる見込み。

【果樹】

(1) りんご

「ふじ」の7月14日の肥大調査結果では前年比縦93%、横90%、平年比縦99%、横96%と前年及び平年並みであるが、結実良好で摘果作業の遅れが目立つ。気温が平年より高く推移しており、6月後半から日焼けの発生が確認されている。腐らん病の発生は依然として多いものの、褐斑病や黒星病の発生は少ない。害虫ではナシヒメシンクイ、カメムシ類の発生が多い。

(2) ぶどう

肥大は良好で、「シャインマスカット」や「クイーンルージュ®」で一部摘粒が遅れている園地があるが、袋掛けは7割程度終了。日中は高温傾向となったことで、日焼けや縮果症の発生が見られ、黒とう病の発生が一部園地で見られる。害虫ではカメムシ類、マメコガネの発生が例年よりも多い。

(3) 核果類

結実は良好で、作業が間に合っていない園地が見られた。降水量が少ない影響から、無かん水ほ場で早生種を中心に肥大不良のまま出荷期を迎えている。定点の「川中島白桃」の7月14日の肥大調査結果では前年比縦93%、横92%、側87%、平年比縦99%、横94%、側92%と前年及び平年並みである。高温の影響か地色の抜けが早い傾向が見られるため、収穫時期が早まり、品種間の差が縮まる可能性が高い。せん孔細菌病の発生は少なく、カメムシ類の飛来は多いものの果実被害はほぼ発生していない。あんずは6月15日から出荷が始まり、7月の第1週まで出荷が続いた。ハーコット、信州大実では平年より収量が多い傾向となった。

【野菜】

(1) アスパラガス

平坦部及び準高冷地帯の半促成作型（施設）、露地作型では、夏どりが開始された。ほ場により、茎枯れ病が発生している。

(2) 果菜類

半促成加温作型のキュウリが収穫後期となっている。無加温の作型は夜温が低く推移していたこともあり、生育は遅れた。半促成加温作型トマトの生育は、ほぼ順調であり、収穫中である。概ね特筆すべき病害虫の発生は見られていない。

ピーマンの収穫が各地で始まっている。初期生育の遅れたところでは樹の伸びが悪い。尻ぐされ果の発生も多い。

【花き】

(1) トルコギキョウ

2月、3月定植の季咲作型は、開花開始時期が遅れたものの、開花期間中の高温により開花が前進した。一部では立枯病の発生が見られる。

抑制作型は、6月下旬より順次定植が開始されている。

(2) リンドウ

5月～6月の降雨で草丈の伸びはよい。

【畜産】

(1) 牧草

永年性牧草は2番草の刈り取りが7月中旬からスタートした。生育は平年並みとなっている。

エンバクは6月中旬から収穫が始まり7月初めに収穫が終了した。雨が少なかった影響か昨年より収量は少なかった。

(2) デントコーン

栄養成長期で10葉以上となっている。雄穂はまだ抽出していない。生育は平年並みとなっている。

テンサイシストセンチュウの発生に警戒を！

2025年6月

諏訪郡原村、南佐久郡川上村、南牧村の一部地域のアブラナ属作物で、「テンサイシストセンチュウ」の発生が確認され、発生地域では、このセンチュウに対する緊急防除とまん延防止対策の取組が進められています。未発生の産地においては、疑わしい症状が見られた場合は、病害虫防除部へご連絡ください。

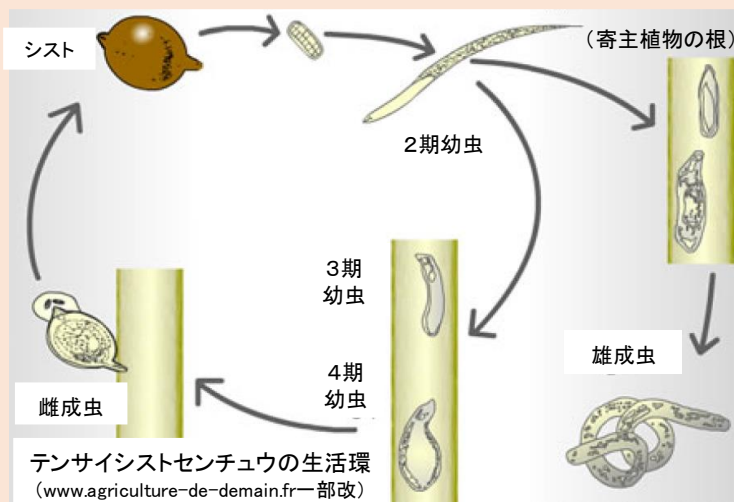
■テンサイシストセンチュウとは

【形態・生態】

- ・雌成虫の体長は0.6～0.9mm。
発育し、肥大化するとレモン型になり、その後、卵を内包した褐色のシストとなる。
- ・雄成虫、幼虫(2期)は糸状。

☑注意!!

シストは土壤中で長期間生存し、
土壌とともに移動する。



【寄主植物(センチュウが寄生する植物)】

- ・アブラナ属植物: はくさい、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、
チンゲンサイ、かぶ、のざわな 等の生植物の地下部
- ・ほうれんそう、トマト、ルバーブ、食用ビート 等の生植物の地下部

【寄生された植物への影響】

- ・センチュウの寄生により、植物体の養水分の吸収阻害が起こる。
- ・その結果、植物体では地上部の萎れや黄化症状、生育遅延、地下部では細根(ひげ根)が異常に増える。

このセンチュウは植物の地下部に寄生するもので、

- ・ヒトや動物に寄生することはありません。
- ・葉や茎などの地上部には寄生しません。
- ・万一、センチュウが付着した農産物を食しても、ヒトの健康を害することはありません。

●疑わしい地上部の症状は？

○ 寄主植物の地上部に次の症状がみられる場合は、根こぶ病などとの複合症状の可能性もありますが、テンサイシストセンチュウの寄生が疑われます。

- ・生育遅延
- ・生育不良（外葉や結球の小型化など）
- ・黄化症状
- ・萎れ



図1 キャベツの発生事例



図2 ハクサイの発生事例

●確認する方法は？

○ 根を掘り上げ、地下部に次の症状などがみられる場合は、テンサイシストセンチュウの疑いがありますので、病害虫防除部へご連絡をお願いします。

- ・細根（ひげ根）の異常な増加（図3）
- ・根に乳白色、レモン型の雌成虫（大きさ0.6～0.9mm）、褐色のシスト※が寄生（図4）

※雌成虫が変化したもので、寄主植物の根がなくても土壤中で長期間生存可能

注）抜き取った株や土壌は絶対に、ほ場外に持ち出さないでください。



図3 被害根（異常に増加した細根）



図4 根に寄生した雌成虫（左）とシスト（右）

【問い合わせ先】

長野県病害虫防除部（本所）

tel: 026-248-6471

e-mail: bojo@pref.nagano.lg.jp

（中南信班）

tel: 0263-53-5642

e-mail: bojo-y@pref.nagano.lg.jp

もしくは最寄りの農業農村支援センター技術経営普及課へ

熱中症、農作業事故に気を付けましょう！

➤ 今年長野地域では死亡事故 3 件、重傷事故 4 件が発生しています！

長野地域で農作業事故が多発しています。死亡事故の内訳は野焼き、熱中症、スピードスプレーヤーとなっています。重傷事故の内訳は運搬車、スピードスプレーヤー、裁断機、歩行型トラクターとなっています。特にスピードスプレーヤーは昨年も長野地域で死亡事故が発生しているため、スピードスプレーヤーを使用する際は事故に気を付けましょう。

➤ スピードスプレーヤーを使用する際に気を付けてほしいこと

スピードスプレーヤーを使用する際に気を付けてほしいことをまとめました。

スピードスプレーヤーで気を付けること

- ・ 防除前に経路をあらかじめ確認し、できるだけ安全なルートを設定する
- ・ 低い枝などの障害物には目印をつける
- ・ 散布時は後方や側方の散布状況に気を取られずに、前方に注意する
- ・ カーブの手前では十分に減速する

昨年、今年発生したスピードスプレーヤーによる死亡事故は、移動中の転落、防除中に前方の枝に挟まるというものでした。

このほかの機械でも転落・転倒、挟まれ、巻き込まれ等の事故が発生しています。機械を使う前の点検、一人での作業を避ける等事故に遭わない対策をお願いします。

長野県では農作業事故啓発の動画を作成しているのでぜひご覧ください！

(QR コードはこちら→)

➤ 熱中症に気を付けましょう☀

暑い時期になっています。暑さを避けて熱中症対策をしながら農作業をしましょう。

熱中症対策のポイント

- ・ 暑い時間の作業はできるだけ避ける
- ・ のどが渇く前に水分と塩分をとる
- ・ こまめな休憩
- ・ 一人での作業は避ける

特に高齢者の皆さんはのどの渇きを感じにくい等熱中症のリスクが高いため、こまめな水分補給をお願いします。

➤ 労働者の熱中症対応について

令和 7 年の 6 月から労働者を雇用する全ての事業者に対して労働者への熱中症対策を義務付ける労働安全衛生規則が改定されました。労働者が見える位置に「対応フローや連絡先を書いた張り紙を貼る」等、熱中症の際にどう対応するかを労働者に周知しましょう。

フロー図の見本は農林水産省の HP からダウンロードできます。

(次のページにつけてあります)

➤ 農作業安全啓発動画



【トラクター編】



【乗用草刈機編】



【高所作業機編】



【スピードスプレーヤー編】



【刈払機編】

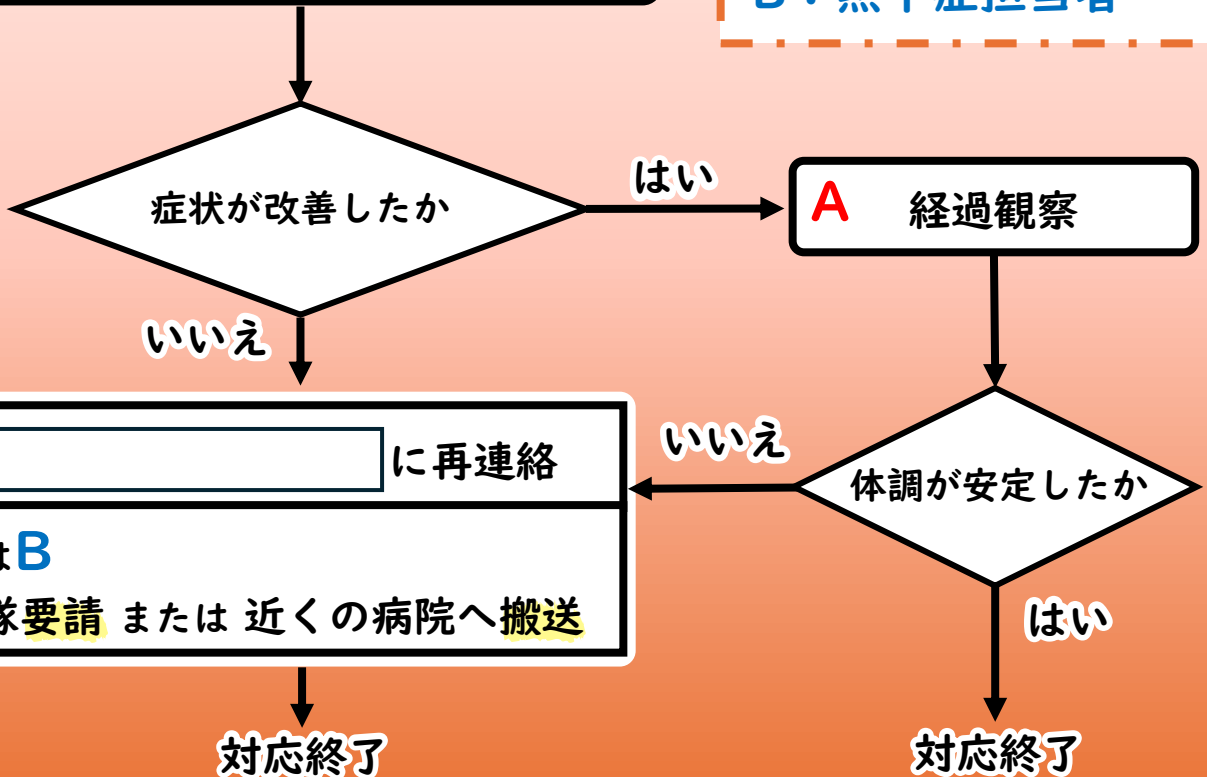
作成日： 年 月 日

作成者：

「熱中症」対応フロー

- A** ・ 熱中症発症または熱中症患者発見
- ・ **B** に連絡
 - ・ 作業を中断して応急処置

A：あなた
(発症者・発見者)
B：熱中症担当者



熱中症のおそれがある時の連絡体制

① 熱中症担当者

担当者：

TEL：

- ・ 上記連絡先に連絡がつかない時は
応急処置や救急隊要請を優先し、
事後に連絡すること。

② 救急・近隣病院

救急隊要請

119番!

近くの病院：

住所：

TEL：

仕事が終わった後でも、体調が悪化したと感じたら、すぐに救急隊を呼んでください！
(熱中症は回復後に症状が悪化するケースがあります！)

※本資料は厚生労働省が提示しているものを参考に農業現場に沿うよう、農林水産省にて作成しています。

長野地域管内の
新規就農者紹介!! 飯綱町 たけうち ひろよし
竹内 大義さん



自己紹介

- ・東御市出身
- ・結婚を機に長野市に移住し、りんご農園に就職。
- ・組織で仕事をする中で経営に興味を持ち、令和7年4月に新規就農。

➤ **葉とらずりんごとの出会い**

一般的なりんごは収穫前に果実周辺の葉を摘み取り（葉摘み）、日光を浴びせて色むらなく真っ赤なりんごに仕上げます。私が就職・研修した農園ではあえて葉摘みをせず、葉で光合成した養分を最大限果実に送る栽培方法を学びました。

りんごの肩の部分に葉の形で跡が残りますが、これが葉とらずりんごの美味しさの証であり、見た目も鮮やかでりんごひとつひとつに個性を感じるようになりました。

➤ **就農するにあたって**

私が勤めていた長野市のりんご農園に就農の準備段階から畑を分けていただき、可能な範囲で農機具や資材を無償で譲っていただくなど、多くの支援をいただきました。おかげで初期投資を抑えて、少ない負担で就農することができました。勤めていた農園だけでなく、地域でお付き合いのある農家さんや JA 職員、町の担当者や県職員など、周りの方々の多くの支えを実感しています。

➤ **今後の目標**

目標は2つあります。

1つは葉とらずりんごの知名度を高めることです。色ムラがあっても美味しいということも多くの方に食べて実感していただきたいです。

もう1つは後継者の育成です。いつか私も歳を取り農業ができなくなる日が来ます。そうなる前に自分の学んだことや技術を若い人に伝え、次の世代に繋ぐことが必要だと思います。私が先輩方から助けていただいたように、次は私が誰かを応援したいと思っています。

地域のできごと

令和7年度グリーンセミナー(ぶどう講座)を開講しています！🍇

J Aグリーン長野と共催で平成20年度から毎年開催している、グリーンセミナー（ぶどう講座）が令和7年度も5月からスタートしています。

今年度は、新規就農者・里親研修生・定年帰農者など20代～70代までの幅広い年代の、ぶどう栽培をこれから本格的に始めていく意向のある29名が参加しています。現地ほ場での講習は少人数のグループに分けて行っており、和気あいあいとした雰囲気の中、参加者同士の交流も活発に行われています。

年間を通じて、全8回を予定しており、第3回まで終了しました（詳細は表を参照）。

今後も、土づくりや病虫害等の基礎知識・出荷施設見学など、ぶどう生産に関する幅広い内容を予定しています。

	主な講座内容
第1回・開講式	新梢管理（芽かきと誘引、若木の管理）㊦
第2回	開花直前の管理（房切り、ジベレリン処理）㊦
第3回	摘房～夏季管理（摘房・摘粒作業、摘心、袋掛け）㊦
第4回	ぶどうの植物生理（座学）
第5回	土壌診断、土づくり
第6回	出荷施設見学、意見交換㊦
第7回	整枝せん定㊦
第8回・修了式	病虫害の基礎

※㊦は、現地ほ場での講習

セミナーでは、J A技術員、農業農村支援センター職員が現場で体感していることやほ場で起きている個別課題に対してのアドバイスも含めて講習しており、受講生の皆さんの理解が深まり、技術習得、さらには高品質なぶどう生産につながることを期待しています。

【開講式の様子】



【現地圃場での講習会の様子】



（地域第一係 黒柳）

地域のできごと

農業士協会上高井長野支部支援センター職員との意見交換会を開催しました

6月2日に長野合同庁舎で「長野県農業士協会上高井長野支部 農業農村支援センター職員との意見交換会」を開催しました。当日は農業士支部会員の出席が14名と、例年以上に大勢の参加がありました。意見交換会では「近年困っていること」をテーマに、農業士とセンター職員で意見交換を行い、獣害やりんご腐らん病、人手の確保についてなど、それぞれの地域での状況や対策について活発に情報交換が行われました。参加した会員からは、「普段話せない他地域の農業者と交流ができ、色々な話を聞くことができた」と感想をいただきました。（地域第一係 二ツ山）



信州フルーツ王国振興会に対して、雹害事後対策講習会を開催しました！🍇

5月21日に須坂市北東部から小布施町にかけて降雹があり、広範囲に雹害が発生しました。この雹害の発生をうけ、6月20日に信州フルーツ王国振興会会員10名に対して、雹害事後対策講習会を開催しました。長野農業農村支援センターから、過去の雹害果の追跡調査結果の資料を示し、樹勢維持のための適正な着果管理などについて講習を行いました。会員からは、事後対策について多くの質問が出され、会全体として雹害を克服していこうという意気込みが感じられました。（地域第三係 堀江）



※信州フルーツ王国振興会：須坂市・小布施町内の観光果樹園で構成されている団体

農業経営者協会長野支部の農業振興懇談会が開催されました🥒

7月3日に、県農業経営者協会長野支部の農業振興懇談会が長野市内で開催されました。

今年度のテーマは「地球温暖化に対応した今後の経営のあり方」で、懇談会に先立って県農業試験場 佐々木直人場長から、「地球温暖化に対応した試験研究の取組について」と題して、温暖化に対応した新品種の育成や栽培技術等について話題提供をいただきました。

懇談会では会員の皆さんから、前段の話題提供を踏まえて、地球温暖化が進む中で、自身の経営で取組んでいる事や困っている事などを、質問等も交えながら発言いただき佐々木場長や原センター所長など職員と意見交換が行われました。

また、懇談会終了後に会場を移して引き続き開催された情報交換会では、例年を大きく上回る参加があり活発な意見や情報の交換が行われ、たいへん有意義な会となりました。

（地域第一係 有賀）



意見交換を行う農業経営者協会の皆さん

8・9月の予定

当支援センターで今後予定している、情報交換会や講習会等の日程です。
詳しい内容やお申し込みについては、各担当へお問い合わせください。

開催内容	概要	お問合せ先
アスパラガスセミナー 日 時：第一回 8月28日（木） 第二回 10月上旬 場 所：長野合同庁舎 別館大会議室 対象者：P11を参照	・アスパラガスの出荷・販売 を目的に栽培したい方を対象に、栽培の基本知識と技術 について実習を交えて習得 してもらう。	026-234-9536（深井） 申込〆切8月18日（月）





令和7年度「アスパラガスセミナー」受講生募集！

長野農業農村支援センター

長野地域で、出荷・販売することを目的としてアスパラガスを栽培したい方を対象に、栽培の基本技術と知識を習得するための講座を開催します。講座では、アスパラガス栽培の基本的な知識と技術について実習を交えて学ぶことができます。皆様のお申し込みをお待ちしています。

回	開催日	科 目	内 容	講師等
1	8月28日 (木)	開講式 アスパラガス栽培について	オリエンテーション ① アスパラガス年間を通じた栽培管理 ② その他	農業農村支援 センター職員
2	10月上旬	アスパラガスの病虫害について	① 現地視察	

申込期限 令和7年8月18日(月)

*定員に達した場合、期限前に締め切る場合がありますのでご了承ください。

◆お問い合わせ・申込先

長野農業農村支援センター 技術経営普及課 技術経営係 担当 深井

Tel 026-234-9536 FAX 026-235-8393

----- 切り取り線 -----

アスパラガスセミナー受講申込書

(申し込み：令和7年 月 日)

1 (フリガナ) 氏 名	(年齢 歳)		
2 住所・連絡先	〒	—	携帯 — — ファックス — — 電話 — — E-mail _____
3 現在の農業経営について	アスパラガス _____a ไร่ 果 樹 _____a ไร่ (内訳 _____) 水 稻 _____a ไร่ 野 菜 _____a ไร่ (内訳 _____) その他 _____a ไร่ (内訳 _____)		
4 アスパラガス新規栽培予定	・有り (_____a ไร่、定植予定年 年) ・無し		
5 出荷先どちらかに○	現在、栽培した農産物を販売、またはJ A・市場等に出荷を 1. している 2. していない		

注) (1)販売を目的とする方を対象としますので、家庭菜園の方はご遠慮ください。

(2)住所・連絡先は正確にご記入ください。

(3)個人情報は講座にのみ使用します。

ピーマンだより

令和7年度 第1号

長野農業農村支援センター

長野農業農村支援センターでは、長野地域に適した品目の一つとして、ピーマンの生産振興に取り組んでおります。ピーマンは、軽量で鳥獣害に遭いにくいいため中山間地でも栽培しやすく、冷涼な気候を活かして夏秋ピーマンの栽培ができるため、単価が高い時期での出荷を狙うことのできる品目です。「ピーマンだより」では、ピーマンの基本的な栽培方法や管理のポイントをご紹介します。今回は、定植～整枝までの初期管理についてご紹介します。

【栽培のポイント】

○温度・湿度

ピーマンの原産地は中南米の熱帯地方と言われており、栽培環境も原産地に近い環境を好みます。

生育適温は、昼間 25～30℃、夜間 18～20℃です。高温には強く 35℃程度であれば問題なく成長します。一方で低温に弱く、夜温が 15℃以下になると生育が悪くなります。また、ピーマンの収量を確保するには湿度も重要です。温度が 25℃の場合、湿度が 80%程度あると結実がよくなります。(ただし、湿度が十分でも、土壌水分が不足していると収量は上がりません。)

○土壌条件

土壌の適応性が広く、砂土や水田などの沖積土でも栽培できます。乾燥や過湿には弱いため、排水性を良くして湛水させないこと、土壌水分は常に湿潤状態を保つことが大切です。



図1. 左：フラワーネット誘引 右：吊り下げ誘引 主枝4本仕立て

【定植～整枝】

1 定植

(1) 畑の準備

1aあたりの施肥量は、窒素・リン酸・カリともに成分量で3kgが目安です。そのうち、基肥でリン酸の全量と窒素・カリの半分を施用し、残りを追肥で施用します。また、栽培期間中は苦土や石灰が欠乏しやすいので、窒素とカリの過剰施肥を避け、基肥で炭酸苦土石灰を施用します(表1)。

うね立てとマルチ張りは定植の2週間前までに完了するようにします。こうすることで、うね内の地温を確保でき、定植後の活着と初期生育がよくなります。

表1. 施肥量の目安 (単位: kg/a)

	成分量			資材
	窒素	リン酸	カリ	炭酸苦土石灰
基肥	1.5	3.0	1.5	15.0
追肥	1.5	-	1.5	-

(2) 定植のポイント

定植の適期は地温が 17℃に達する時期からで、露地栽培では5月中旬～6月上旬ごろ、ハウス栽培では4月中旬以降です。定植後は、霜被害の防止や初期生育をよくするために、日最低気温が 17℃を超えるようになるまで、トンネル被覆やあんどんをして保温します。

【定植のポイント】

- ★できるだけ晴れて風の無い日に定植を行います。
- ★定植の前に、苗と植穴へ十分にかん水します。
- ★深植えになると、苗の周りに水が溜まって湿害や病害が発生しやすくなります。苗の根鉢がウネ面から1cm出る程度の浅植えになるように、植穴の深さを調節します。
- ★根鉢と植穴の間に隙間があると活着しないため、植穴に苗を入れたら、土を上からしっかり押さえて鎮圧します。
- ★定植後はすぐに支柱に誘引して、風による倒伏を防ぎます。

2 定植後の管理

(1) 摘花、脇芽の除去

生育期間を通して収量を高くするには、初期生育を確保することが重要です。1番果花を着果させると株にかかる負担が大きくなり、初期生育が劣ります。1番花は開花中に摘花し、初期の生育が劣る場合などは必要に応じて2～3番花も摘花します。

活着後に1番花より下に発生する脇芽は、光合成をして初期生育に必要な養分を作る役割がありますが、株が大きくなってくると結実に必要なエネルギーまで使ってしまうため、この脇芽は長さ10～15cmを目安に摘み取ります。

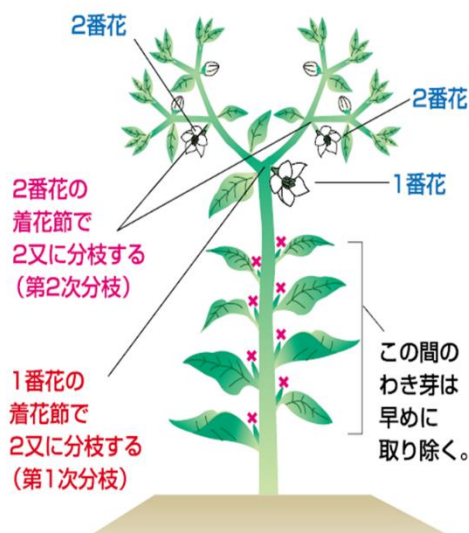


図2. 生育初期の草姿

(2) 誘引

活着後は早めに誘引を開始します。

露地栽培ではフラワーネットやマイカー線、ハウス栽培では吊り下げ誘引などによって誘引を行います（表面、図1）。

(3) 整枝の方法

フラワーネットで誘引する場合は放任に近い枝管理となります。下向きの枝や花芽が付かない枝、中心の込み合った部分の枝を間引くようにして管理します。

吊り下げ誘引の場合は主枝4本仕立てが基本となり、第2次分枝から発生した4本を主枝として仕立てていきます。第3次分枝以降は、2本の分枝のうち強い枝を残して誘引し、もう一方は葉を2枚残して先端を切り落とします。このようにして、主枝と先端を止めた枝（側枝）から果実を収穫していきます。

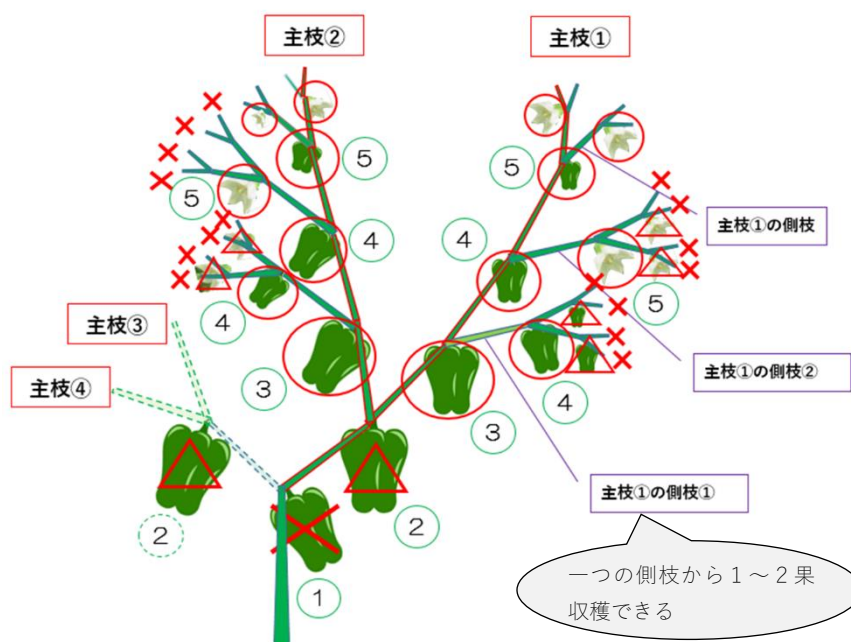


図3. 主枝4本仕立ての仕立て方

ピーマンだより

令和7年度 第2号

長野農業農村支援センター

長野農業農村支援センターでは、長野地域に適した品目の一つとして、ピーマンの生産振興に取り組んでおります。「ピーマンだより」では、ピーマンの基本的な栽培方法や管理のポイントを掲載しております。今回は、出荷期間の管理についてご紹介します。

【収穫期の基本の管理】

○かん水

ピーマンの根は土壌の浅い位置に集中しているため乾燥に弱く、果菜類の中でも特に水を必要とする作物であり、かん水の効果が収量に直結します。また、かん水には養分をしっかりと吸収させ、尻腐れ果などの生理障害を防ぐ効果もあります。

理想は「少量多回数かん水（回数を分けて少量ずつかん水する）」で、土壌表面がやや黒くなる程度を維持するようにこまめにかん水することです。難しい場合は、午前9時～11時頃に行うようにします。

○収穫

長く安定した収量を維持するためには、収穫が遅れないようにして、株の着果負担を少なくすることが重要です。30g程度のM果を中心に収穫し、経営規模に合わせて3～7日に1回は行うようにします。収穫の間隔が短いほど株の負担が減るため、できるだけ短い間隔に設定したほうが安定した収穫を見込めます。

○追肥

基本は、窒素とカリを1aあたり0.2～0.3kg、2週間に1度ほどを目安に追肥します。追肥の量や間隔は、草勢を見ながら判断します。次の項目では、草勢の診断と調節の方法について紹介します。

【草勢の調節】

1 草勢の診断

果菜類は収穫期間中、**栄養生長**（茎や葉を伸ばして体を大きくする）と**生殖生長**（花や実をつけて子孫を残そうとする）を同時に行いながら生育しており、このうち栄養生長の強さを「**草勢**」と言います。限られた養分を使って生育しているため、栄養生長と生殖生長のバランスが崩れてどちらかに偏ってしまうと、長く安定して収穫することができなくなってしまいます。

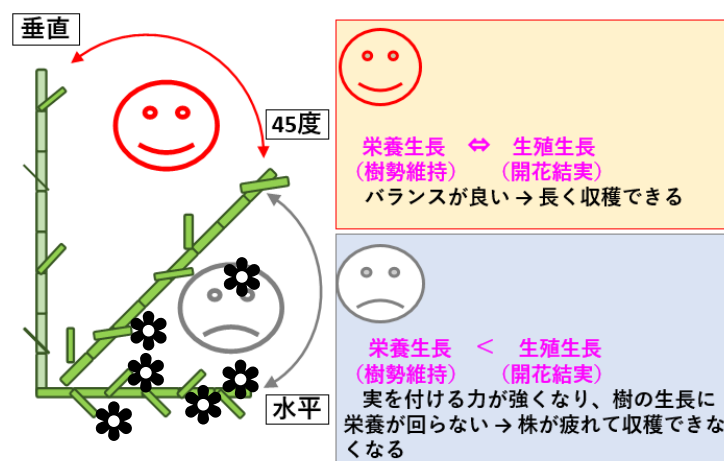


図1. 栄養生長と生殖生長のバランスについて

草勢の診断方法には、図2のような方法があります。適切な草勢は、生長点から1～2節目がつぼみ、3節目で開花しているとき、または花が長花柱花であるときです。追肥、かん水、枝の向きなどによって、適切な草勢を維持する管理が必要です。

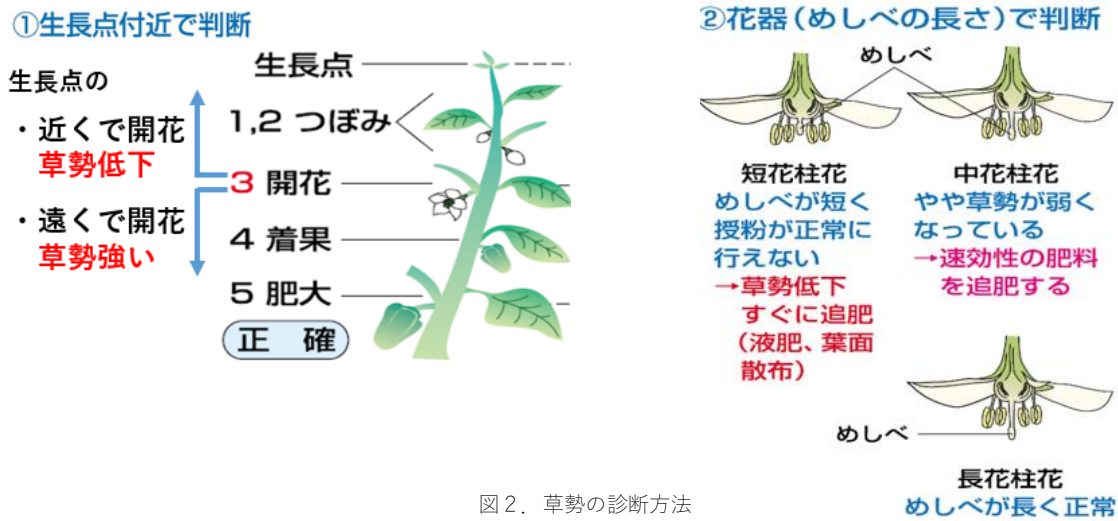


図2. 草勢の診断方法

2 草勢の調節方法

草勢が弱くなってきたら、着果負担を減らすために収穫の間隔を短くする、少し小さめの果実を収穫する、追肥をする、枝の角度を垂直に近くするといった草勢を強くする管理を行います。反対に、草勢が強すぎて着果しなくなるような場合は、少し果実を大きくしてから収穫したり、追肥の間隔を長くする、枝の角度を水平に近くするといった管理を行い、草勢を弱めます。

【主な生理障害】

生理障害が生じると、奇形果や腐れが生じて出荷できる果実が少なくなってしまうます。かん水や肥培管理を適切にし、生理障害の発生を減らすことが出荷量の増加につながります。特に、ここ2～3年は高温による日焼け果や尻腐れ果の発生が多くなっています。日焼け果の原因は、乾燥や直射日光が当たるなどして果実表面が50℃以上になることです。十分なかん水を行うとともに、枝の量や位置を調節して葉で日影を作って対策します。また、尻腐れ果はカルシウムが不足して果実にいきわたらないことが原因で発生します。養分を果実まで運ぶためには水が不可欠のため、かん水量を十分にするだけでも尻腐れ果がかなり軽減されるケースが多いです。それでも改善されない場合は、カルシウムの葉面散布などによって外から養分を補います。

表1. 主な生理障害の原因と対策

生理障害	原因	対策
尻腐果	高温乾燥、多肥、チッソ過十分な灌水、マルチ、敷きわらの利多、カリ過多、カルシウム用、適正な施肥、カルシウムの葉面散布	
黒アザ果 (アントシアン果)	低温下での直射日光（紫外線）、極端な乾燥	保温、品種間差大
石果	低温、高温乾燥、水分不足チッソ過多、栄養不良	保温、灌水、草勢の安定化
日焼け果	高温下での直射日光（強光）、水分不足	果実に直接日光が当たらないような整枝、十分な灌水、換気、遮光
赤果	高温、低温による受精不良樹勢低下、収穫遅れ	遮光・換気、保温等による適温管理、かん水・追肥、不良果摘果による樹勢維持
先尖り果	低温少日照、高温乾燥での草勢低下	保温、草勢回復

果樹類のカメムシ類の被害にご注意ください！

果樹類のカメムシ類とは

- 果樹類（かんきつ、なし、かき、りんご等）の果実を吸汁加害するカメムシの総称であり、**落果や奇形果等の被害**を与えます。
- 主な種類は、**チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ**であり、主に森林のスギ、ヒノキなどの球果を餌に繁殖し、果樹園に飛来します。

主なカメムシ類



チャバネアオカメムシ



ツヤアオカメムシ



クサギカメムシ



被害の状況（なし）



防除対策

- カメムシ類の発生状況に応じて、以下のような防除対策を適切に実施してください。また、**スギ林やヒノキ林の隣接園では被害が多いことから、特に飛来状況に注意**してください。

○速やかな薬剤散布の実施

都道府県の病虫害防除所が発表する発生予察情報などの病虫害の防除に関する情報を参考に、園内をこまめに見回り、飛来を確認した場合速やかに薬剤散布を実施しましょう。

（薬剤散布のポイント）

- ・ カメムシ類は、薄暮期から夜間を中心に活動するため、夕方に薬剤散布を行うと効果的です。
- ・ 薬剤散布による天敵類への影響により、他の害虫が発生することがあるので注意してください。
- ・ 発生量が多いと予想される場合で、見回りが難しい場合には早めの薬剤散布を実施しましょう。

○多目的防災網等の設置

例年発生の多い園地では、多目的防災網又は防虫ネットを設置しましょう。

（多目的防災網等の設置のポイント）

- ・ 春の気温が暖かい場合、カメムシ類の活動が早まるおそれがあるため、早めに設置しましょう。
- ・ 設置の際は、破れや隙間がないか念入りに点検してください。

○袋かけの実施

なし、ぶどう等の有袋栽培の場合、早期に袋かけを実施しましょう。ただし、袋をかけていても、果実が肥大して袋に密着すると被害をうける場合があるので、注意してください。

不稔米を発生させるイネカメムシの被害にご注意ください

- イネカメムシは、基部斑点米を発生させる他、出穂期に籾の基部を加害することにより、**不稔米を発生**させます。
- 発生量が多く適期の防除が実施されていない場合は、**大幅な減収となる可能性**があります。
- 他の主要な斑点米カメムシ類と異なり、穂前 期以降ではなく**出穂期に防除**することが重要です。



左：成虫、中：幼虫、右：基部斑点米

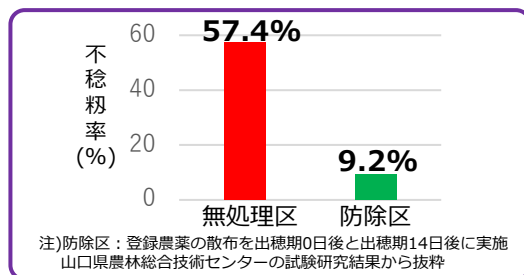


図 イネカメムシの不稔米に対する防除効果

被害を受けやすいほ場の特徴

- イネカメムシは、稲を好んで加害します。このため、防除が行われていないほ場（飼料用米ほ場等）、**周囲より出穂が早い品種のほ場や遅い品種のほ場は、集中加害**を受ける場合があります。

イネカメムシに対する防除対策

○情報のチェック

- ✓ 都道府県の病虫害防除所が発表する発生予察情報などの病虫害の防除に関する情報をこまめに確認し、**地域の発生状況を把握**しましょう。

都道府県の病虫害 カメムシ類の防除
防除所のHP一覧



○圃場内への初期の侵入を把握

- ✓ 圃場の見回り、白色粘着板トラップの利用等により、**圃場への初期の侵入の把握**に努めましょう。
他の斑点米カメムシ類と異なり、イネカメムシは稲への嗜好性が高いため、畦畔や水田の周辺のイネ科雑草で確認されることは少ないとされています。

○防除の実施

- ✓ 過去から発生量が多く、被害が懸念される地域は、不稔を防止するため、**出穂期の防除を計画的に実施**しましょう。また、それ以外の地域でもイネカメムシの発生量が多い場合は、**出穂期の臨機防除**を実施しましょう。
さらに、防除後もほ場の発生状況を確認するために、ほ場をよく観察してください。
- ✓ イネカメムシの多くは、昼間は株元に潜んでいます。無人ヘリやドローンでの薬剤散布の際は、**株元まで薬剤が十分に届くように、通常より高度を下げつつ、速度も調整**することを心がけましょう。
- ✓ イネカメムシは、斑点米も生じさせることから、発生が多い場合は、斑点米の発生を防止するため**出穂期以降の2回目防除**も検討しましょう。
- ✓ 一部の地域では薬剤抵抗性個体が確認されていることから、**同一系統の薬剤の連用は避け**、ローテーション散布を実施しましょう。

有機農業に取り組みたい 農業者の方！

応募受付中!!

— 2025年 —

6月18日(水)～12月19日(金)まで

※予算の範囲を超える申請があった時点で
すぐに受付が終了となります

農林水産省 補助事業で

農林水産省
JASイメージキャラクター
ジャスマル



©tohtaka nebeta/AMCOP

講習会
受講料

※教材費含む/交通・宿泊費は対象外

3万円
まで

有機JAS認証取得に向けた 費用を補助 します！

ほ場実地
検査料

※検査員の交通費も含む/宿泊費は対象外

9万円
まで

補助対象条件

(以下の全てを満たすこと)

- ✓ 過去に有機JASほ場実地検査を受けていない
- ✓ 有機JAS認証を取得し、継続する意向がある
- ✓ 有機JAS認証取得状況調査に協力すること

- ✓ 営農の一部若しくは全部において国際水準の有機農業に取り組んで5年以内である、又は今後取り組むことを予定している

※講習会の受講においては、経営体で勤務する構成員でも可(当該経営体における代表者及び生産行程管理責任者、格付責任者を務めている又は務める予定の者に限る)

※国際水準の有機農業とは、有機農産物の日本農林規格(平成17年10月27日付け農林水産省告示第1605号)第4条の基準を満たす生産方法とする

有機JAS認証と取得に向けたサポート



有機JASマーク



メリット

- ・「有機」「オーガニック」の表示が可能
- ・社会的信用の担保につながる
- ・全国一律の規格のため販路の拡大につなげやすい

取得に向けた課題

- ・認証取得に費用がかかる

講習会・検査費用の一部を補助！

- ・生産記録に手間がかかる

スターターキットの提供！(事業申込者のみ利用可・希望制)

※本事業は農林水産省令和7年度有機農業推進総合対策のうち有機農業新規参入促進事業の一部として実施されます

有機JAS認証取得
補助金申請

申請様式
ダウンロードは
こちらから



<https://www.organic-support.jp/outline/>

有機JAS制度に関する研修
の受講等の支援

補助金の申請方法や応募書式、有機JAS認証取得のためのサポート情報を事業HPにて公開しています



<https://www.organic-support.jp/>

有機農業者支援事務局
電話受付時間：平日13:00-17:00PM

✉ organic@myfarm.co.jp

☎ 050-5527-3096

運営主体：一般社団法人 次代の農と食をつくる会
実施主体：株式会社マイファーム



●有機農業新規参集促進事業のうち 有機JAS制度に関する研修の受講等の支援について

新たに有機農業に取り組む営農者のみなさまが有機JAS認証を取得する際にかかる経費の一部補助や有機農業に必要な知識や経験を学ぶ機会を提供するものです



●補助金申請書類 ※WEBサイトから様式をダウンロード

- ☐ 申請書(事業実施計画・補助金交付申請)
- ☐ 事業実施計画書
- ☐ 講習受講料/ほ場実地検査費用の見積書または根拠となる書類
- ☐ 補助金の振込先口座情報

有機JAS認証取得
補助金申請

申請様式
ダウンロードは
こちらから



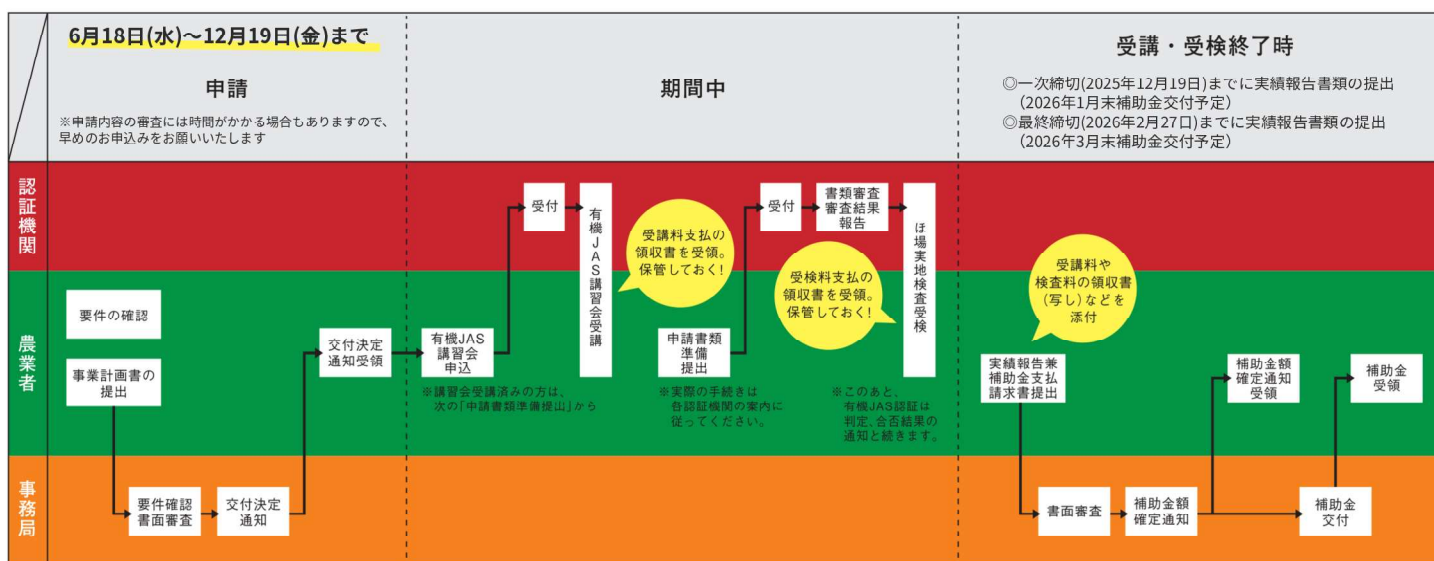
<https://www.organic-support.jp/outline/>

●補助金活用のステップ

STEP 1	実施事業者 → 事務局	補助金申請書類を提出
STEP 2	事務局 → 実施事業者	交付決定の通知
STEP 3	実施事業者	講習会の受講/ほ場実地検査の実施
STEP 4	実施事業者 → 事務局	事業実績報告を提出
STEP 5	事務局 → 実施事業者	補助金交付の通知

書類作成・提出は
申請時と報告時の
2回だね！

農林水産省
JASイメージキャラクター
ジャスマロ



なお、補助金の申請は予算の範囲を超える申請があった時点ですぐに受付が終了となります。(先着順)

**申請内容の審査には時間がかかる場合がございますので、
早めのお申込みをお願いいたします。**

有機農業者支援事務局
電話受付時間：平日13:00-17:00PM

organic@myfarm.co.jp 050-5527-3096

運営主体：一般社団法人 次代の農と食をつくる会
実施主体：株式会社マイファーム

